

『平成31年度 全国学力・学習状況調査 結果・分析』

江戸川区立一之江第二小学校

調査日 平成31年4月18日（木）

対象学年 第6学年実施人数： 142名

【結果】

《結果》平均正答率	国語A	算数
本校	74%	76%
江戸川区	62.1%	67.1%
東京都	65%	70%
全国	63.8%	66.6%

【全体の分析】

○ 国語も算数も江戸川区、東京都、全国の平均正答率を上回っている。

【教科ごとの分析】

国語

	全体	話す・聞く	書く	読む	言語
本校	74	85.0	66.2	91.1	62.1
江戸川区	62.1	68	54.1	80.3	53.2
東京都	65	73.1	55.4	83.0	55.7
全国	63.8	72.3	54.5	81.7	53.5

- 全ての項目において、江戸川区、東京都、全国平均を上回った。
○ 「書く」と「言語」は「話す・聞く」や「読む」に比べて平均点が低い。

『自分の考えをまとめて書く力』『自分の考えの根拠を明確にしてまとめて書く力』『同音異義語の漢字を探し、意味を理解させる』という3点を重点的指導していく。言語の力を向上させて、書く能力へのアプローチを普段の授業でも意識的に取り組んでいきたい。

算数

	全体	数と計算	量と測定	図形	数量関係
本校	76	72.6	63.8	87.3	78.3
江戸川区	67.1	63.6	52.9	78.6	69.3
東京都	70	66.7	57.5	79.0	72.2
全国	66.6	62.3	52.9	76.7	68.3

- 全ての項目において、江戸川区、東京都、全国平均を上回った。
- 量と測定は7割を切っており、他に比べて点数が低い。

本校では、毎週水曜日の朝に取り組んでいる『パワーアップモーニング』、金曜日に取り組んでいる『パワーアップフライデー』、毎学期1度取り組んでいる『家庭学習週間』において、東京ベーシックドリルを活用して基礎・基本の定着に取り組んでいる。また自校で作成している学習カルテにより、算数の学力の見える化を図っている。今後も、家庭と連携しながら児童の基礎・基本の定着を推進していきたい。

『提示された式や図形、資料が何を表しているのかを説明する力』『示された減法や除法の式を説明する力』『提示された資料の特徴や傾向を関連付け、説明する力』『量と測定』の4点を苦手としているので、改善を図っていく。

普段の授業において、課題に対して様々な視点から解決方法を検討する活動をより充実させていく。特に『量と測定』では、直接比較、間接比較、任意単位による測定、普遍単位による測定という4段階の比較・測定の学習活動をより意識させていく。